

# 神戸市での広域的な公共交通利用転換に関する実証実験

(平成15年10月～平成17年9月)

## 背景

土日祝日における地下鉄・バス利用者の著しい減少  
三宮・元町等都心部への自家用車流入による  
○慢性的渋滞の発生  
○違法駐車が増大  
○バス走行環境の悪化  
○沿道環境の悪化  
商店街等の空洞化によるまちの活力の低下 等

## 実験の概要

### 「エコモーション神戸」の推進

都心部への自家用車の流入抑制により公共交通の利用を促進し、まちの賑わいの創出と地域環境の改善を図る。

検討主体：神戸市TDM研究会(学識経験者、NPO、神戸市、商業者、近畿運輸局等で構成)

## 具体的取組

# 神戸市での広域的な公共交通利用転換に関する実証実験

## 【実験内容】

### エコファミリー制度

・大人1人につき小学生以下2人まで地下鉄・バス無料

### エコショッピング制度

・地下鉄利用者は「大丸ミュージアムKOBE」の入場料金が無料

・市バス利用者は「ハートフルみなとがわ」でお買い物券をプレゼント

### 環境啓発イベント開催

・交通社会問題及び脱クルマ社会の啓発、公共交通利用促進PR等

## 【参加交通事業者】

神戸市交通局(地下鉄・バス)、北神急行電鉄、神戸交通振興バス

## 実験の途中経過

○利用者が実験前に比べ増加。

地下鉄三宮駅利用者数(平成16年度)

47,251人/日(実験前) → 47,766人/日(+1.1%)

(実験継続中)